

新庁舎整備に関するワークショップ

第2回

R7(2025)年7月6日

熊本城ホール中会議室

■本日のプログラム

時間	内容
12:45～	受付・ご案内
13:00～	はじめに(5分) 本日のプログラム、前回の振り返り(全体)
13:05～	アイスブレイク(5分) 自己紹介、前回WSの振り返り(テーブルごと)
13:10～	資料説明(10分) 基本構想について、オープンハウス・市民アンケート報告、庁舎の機能
13:20～	ワークの進め方説明(5分) ※利用者・利用シーンを割り当て
13:25～	意見交換(60分) テーマ① 新庁舎をどう使う? ～新庁舎の利用者像～ テーマ② 利用イメージを実現するために必要な空間・機能は?
14:25～	発表(30分) 各チーム3分程度
14:55～	閉会あいさつ(5分)

前回ワークショップの振り返り

■基本計画フェーズ：市民ワークショップ全3回の流れ

6月15日(日)

13:00～15:00

@熊本城ホール

中会議室 E1+E2

7月6日(日)

13:00～15:00

@熊本城ホール

中会議室 E1+E2

本日

8月3日(日)

13:00～15:00

@市民会館シアーズホーム夢ホール

大会議室

話し合いのテーマ

①どんなまちになってほしい？

目指すべきまちの将来像

②まちの中で新庁舎周辺の役割は？

新庁舎周辺地区の位置づけ・役割と
まちなか庁舎のあり方

話し合いのテーマ

①新庁舎をどう使う？

新庁舎の利用者像

②必要な空間・機能は？

想定した利用者像から利用シーンと
必要な空間・機能を整理

話し合いのテーマ

①市民交流スペースで何する？

市民交流スペースに必要な空間・機能、
使い方

②新庁舎の未来は？

新庁舎での過ごし方

徐々に議論の対象を絞っていきます！

まち全体について

新庁舎について

市民交流スペース（低層部等）

前回ワークショップの振り返り

■ 前回ワークショップのご意見まとめ

テーマ① どんなまちになってほしい？

通町筋・桜町周辺地区の「まちの将来像」 に関するご意見まとめ

- ・ 熊本城や自然など、熊本らしさが詰まったまち
- ・ 人が中心の、回遊したくなるまち
- ・ 安心安全で、こども達が楽しめるまち
- ・ 商店街のポテンシャルで、昼も夜も楽しめるまち
- ・ 老若男女が憩えるまち



テーマ② まちの将来像実現に向けて、新庁舎周辺の役割は？

新庁舎周辺地区の位置づけ・役割 に関するご意見まとめ

- ・ いつでも多様な人が集える場所
- ・ 日常利用と災害対応を備える
- ・ 情報の発信と収集
- ・ 回遊の拠点
- ・ まちに足りない機能を補完

まちなか庁舎のあり方 に関するご意見まとめ

- ・ 熊本らしさを感じる庁舎
- ・ 安全安心を守る防災拠点
- ・ だれでも日常利用できる場所
- ・ カッコ良い、愛着をもてる庁舎
- ・ 環境への配慮

新庁舎整備に関するワークショップ 第1回

テーブル: D

新庁舎整備に関するワークショップ 第1回

テーブル: D

テーマ① どんなまちになってほしい？

通町筋・桜町周辺地区のまちの将来像

- 回遊しやすく、回遊したくなるまち
- 熊本城を中心とするまち(街並み)
- ポテンシャルを活かした1段階上のまち

テーマ② まちの中での新庁舎周辺の役割は？

新庁舎周辺地区の位置づけ・役割

- 様々な人が利用できる
- これまでまちに足りなかった機能を補完

まちなか庁舎のあり方

- 熊本城を中心としたまちなみへの配慮
- 市民が愛着をもちやすい

よりよいワークショップにするために (おさらい)

- ✓ お互いの意見を尊重し、否定せずに耳を傾けましょう。
- ✓ 限られた時間の中で多くの方が話せるよう、発言はコンパクトに！
- ✓ 問題点だけでなく、改善案やアイデアを積極的に共有しましょう。
- ✓ 誰もが安心して参加できるように、周りの方が嫌な気持ちになるような発言は控えましょう。
- ✓ 参加者による録音・撮影はご遠慮ください。



アイスブレイク

(自己紹介)

おなまえ

お住まい・勤務先等
(〇〇区から来ました)

時間があれば、前回の振り返りに加えて

現庁舎・区役所には
どのような用事で
来ますか？

庁舎を利用する際に
困ったこと等は
ありますか？

…等々

1. 新庁舎整備に関する基本的な考え方について

■新庁舎の目指すべき姿（3つの視点）

1.あらゆる災害に対応できる庁舎

- 十分な耐震性能の確保
- 浸水に対するぜい弱性への対応
- 防災拠点施設としての機能拡充



2.市民が利用しやすく、質の高い行政サービスが提供できる庁舎

- 来庁者への配慮・利便性
- 窓口機能の集約等による市民サービス向上
- 効率性・可変性



3.まちの賑わいに貢献し、まちづくりの核となる庁舎

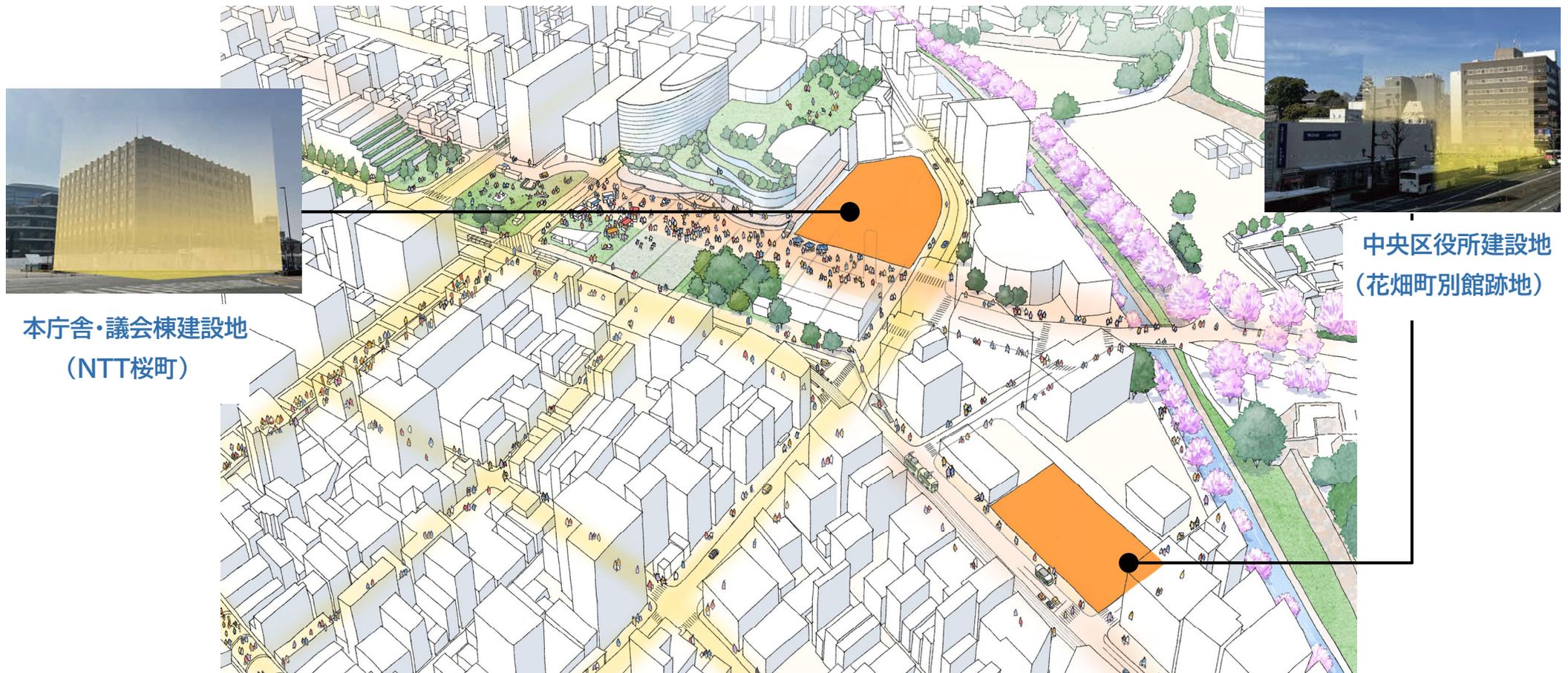
- 市民交流・情報発信の場
- まちづくりの核



1. 新庁舎整備に関する基本的な考え方について

■ 建設地

- 各候補地の立地特性、建替計画、概算事業費を比較検討し、本庁舎及び議会棟の建設地については、「NTT桜町敷地」を選定
- 中央区役所は、良好な景観の確保、賑わいの観点から、本庁舎及び議会棟とは分けて建設することとし、「花畑町別館跡地」を建設地として選定



1. 新庁舎整備に関する基本的な考え方について

■まちづくり

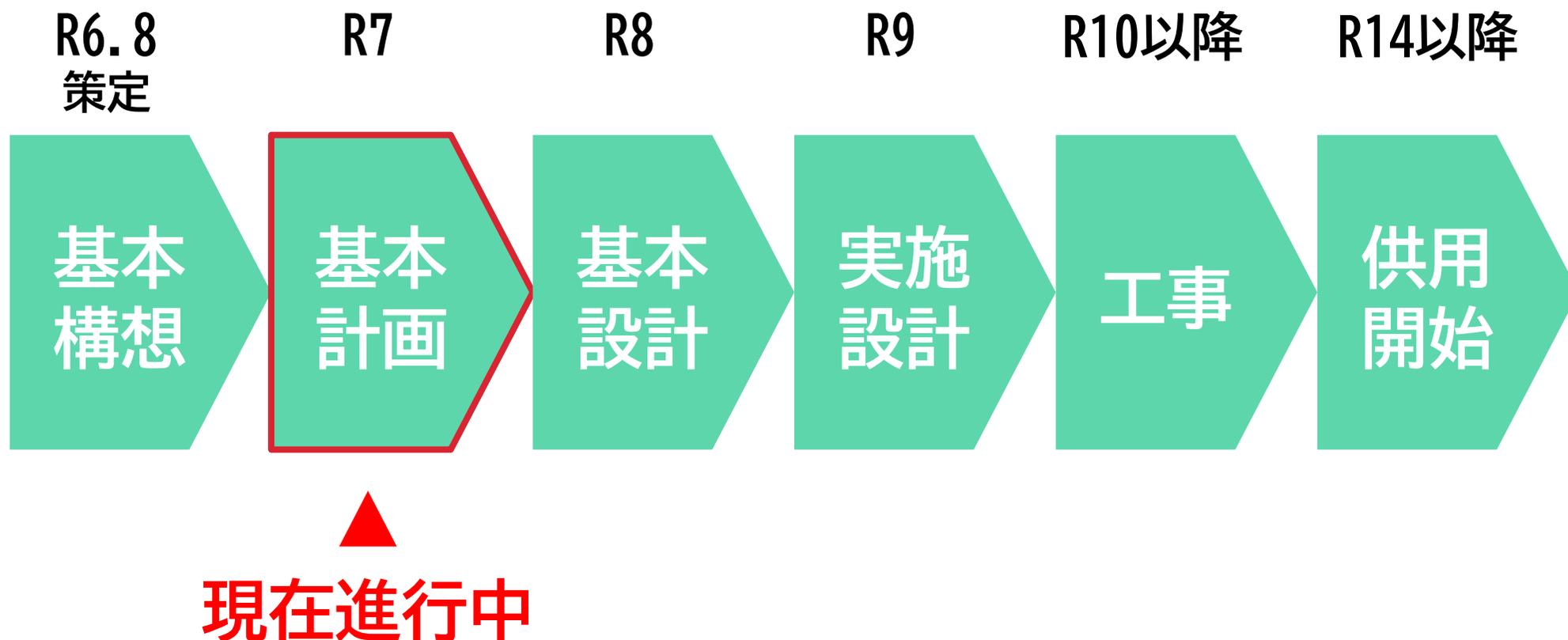
- 新庁舎単体の在り方のみならず、周辺施設との回遊性や中心市街地全体の賑わい、地域・経済交流等に資する、庁舎を核としたまちづくりを目指します。



現庁舎跡地は、そのポテンシャルにふさわしい利活用について検討を行い、中心市街地、さらには本市全体の活性化につなげます。

1. 新庁舎整備に関する基本的な考え方について

新庁舎整備の全体スケジュール



2. オープンハウス実施報告

オープンハウス

【目的】基本構想の周知を行うとともに、基本計画策定に向け、コンセプトや各機能の方向性等に係る市民・観光客等の意見を把握するため

【期間】5月3日～6月8日 計8回開催

【場所】花畑広場、サクラマチクマモト、本庁舎
上通アーケード、下通アーケード

【対象】制限なし(幅広く、観光客など市民以外も対象)

【方法】イベント等での説明ブースの設置

【内容】
・基本構想に関する説明動画・パネル設置、職員による説明、認知度調査、パンフレット配布
・新庁舎に期待するポイント(自由記述)
・市民利用スペースについてのシール投票

【来場者】1,396名



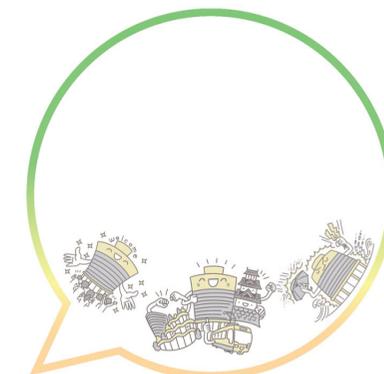
2. オープンハウス実施報告

新庁舎に期待するポイント自由記述(意見数:530件)

- 自由記述では、市民利用スペースに関するご意見が最も多かった。

ステッカーに
記入してもらいました

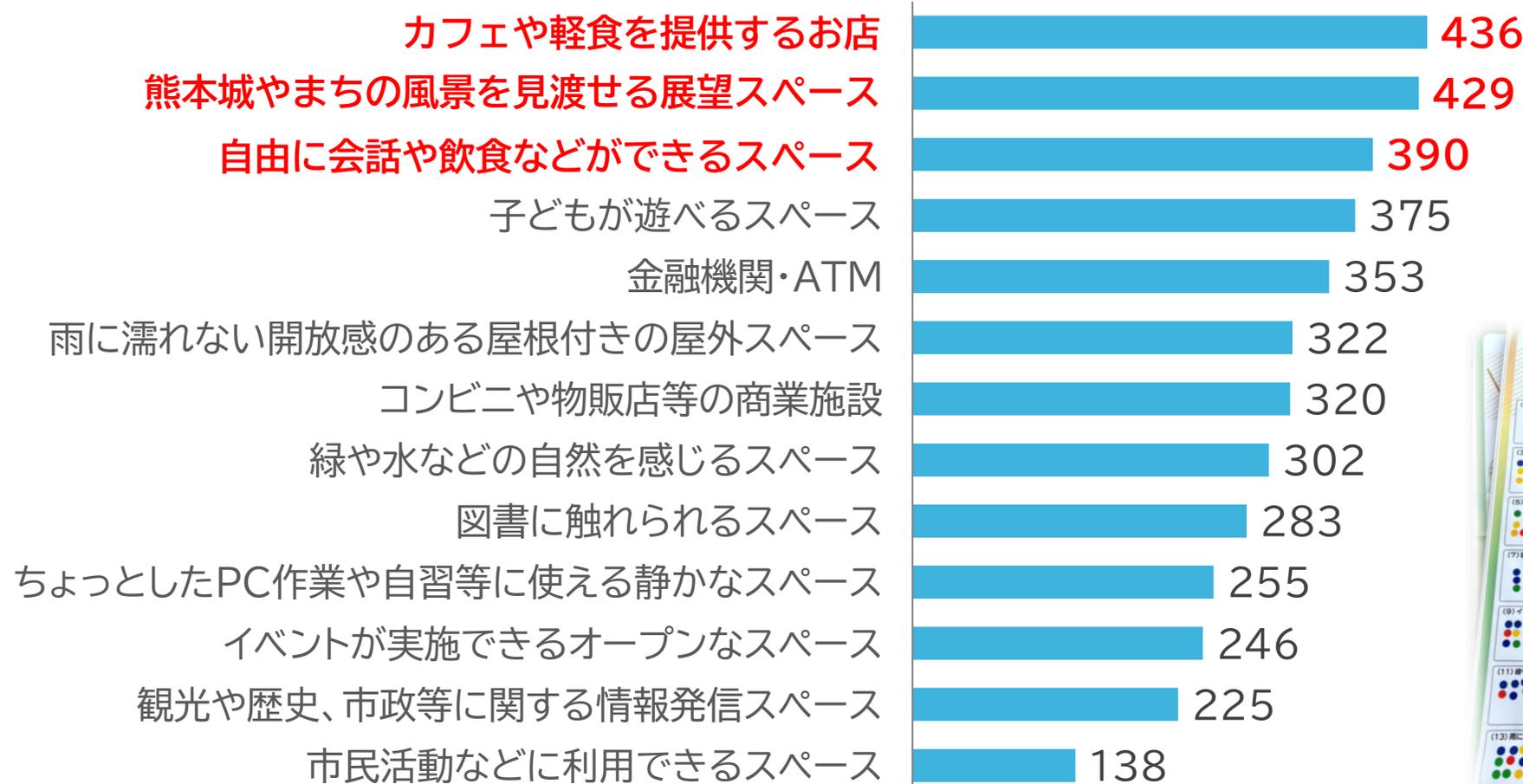
分類	主なキーワード	件数
市民利用スペース	子どもが遊べる、図書、休憩、自習、カフェ、食堂、売店、イベント、交流、展望、情報発信	202
快適性、ユニバーサルデザイン	広いトイレ、高齢者、子育て世代、障がい者、外国人	78
アクセス、駐車場	広い駐車場、公共交通、障がい者用駐車場	52
窓口、手続き	わかりやすい案内、待ち時間、通訳	49
景観・デザイン	周辺とマッチ、熊本城、明るい、開放的、緑	39
災害対応	災害に強い、防災拠点、避難	33
周辺施設との連携	サクラマチ、花畑広場、周辺駐車場	22
施設規模・事業費	コンパクト、お金をかけない	8
職員の執務環境	働きやすい、サービス向上、人材確保	6
その他	環境、現庁舎跡地	41



2. オープンハウス実施報告

市民利用スペースについてのシール投票(投票数:4,074件)

- 市民利用スペースにあったらいいなと思うものにシールで投票をしていただいた。(複数回答可)
- 結果、カフェや軽食を提供するお店や展望スペースを希望する声が上位となった。



2. 市民アンケート実施報告

アンケート

- 【目的】 基本計画策定に向け、コンセプトや各機能の方向性等に係る市民意見を把握するため
- 【期間】 5月20日～6月10日
- 【対象】 2,000人※本市在住かつ満18歳以上の方を無作為抽出
- 【方法】 郵送による調査票の配布
- 【内容】 新庁舎に想定される機能についての重要度調査(記述式及び選択式)
- 【回収数】 742票

回答者の基本情報

(1)性別

男性 42.9% (318人)	女性 55.4% (411人)
-----------------------	-----------------------

回答しない
1.2%(9人)

無回答
0.5%(4人)

(2)年齢

~19歳 1.2%(9人)	~39歳 11.2% (83人)	~49歳 14.4% (107人)	~59歳 16.7% (124人)	~69歳 18.3% (136人)	~79歳 19.8% (147人)	80歳~ 10.3% (76人)
------------------	------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	------------------------

~29歳
7.7%(57人)

無回答
0.4%(3人)



沢山のご回答
ありがとうございました！



2. 市民アンケート実施報告

新庁舎整備にあたり、各項目についての重要度

※レイアウトの都合上、アンケート帳票の各項目の文章から一部要約しています。

■1:とても重要 ■2:重要 ■3:あまり重要ではない ■4:重要ではない ■無回答

関連した手続について1つの窓口で完了できるなど、効率の良い行政サービスが提供される窓口

分かりやすいサインや案内、動線により、スムーズに手続が進められる窓口

地震に強い構造であり、風水害も含めあらゆる災害時に防災拠点施設としての機能を維持できる

あらゆる人が利用しやすい、バリアフリーやユニバーサルデザインに十分に配慮した環境

公共交通機関(バス・市電)でのアクセスが良い

プライバシーが十分に守られ、安心して相談できる環境が整っている

住民サービスの向上につながるよう、職員にとって効率的で生産性の高い仕事ができる環境

省エネ設備・創エネ設備などを積極的に導入し、環境に配慮した建物

建設費や維持管理費用を抑え、経済性に配慮した建物

近隣施設や街なかと往来し易い環境(歩道橋などの上空通路、雨天時に濡れない通路など)

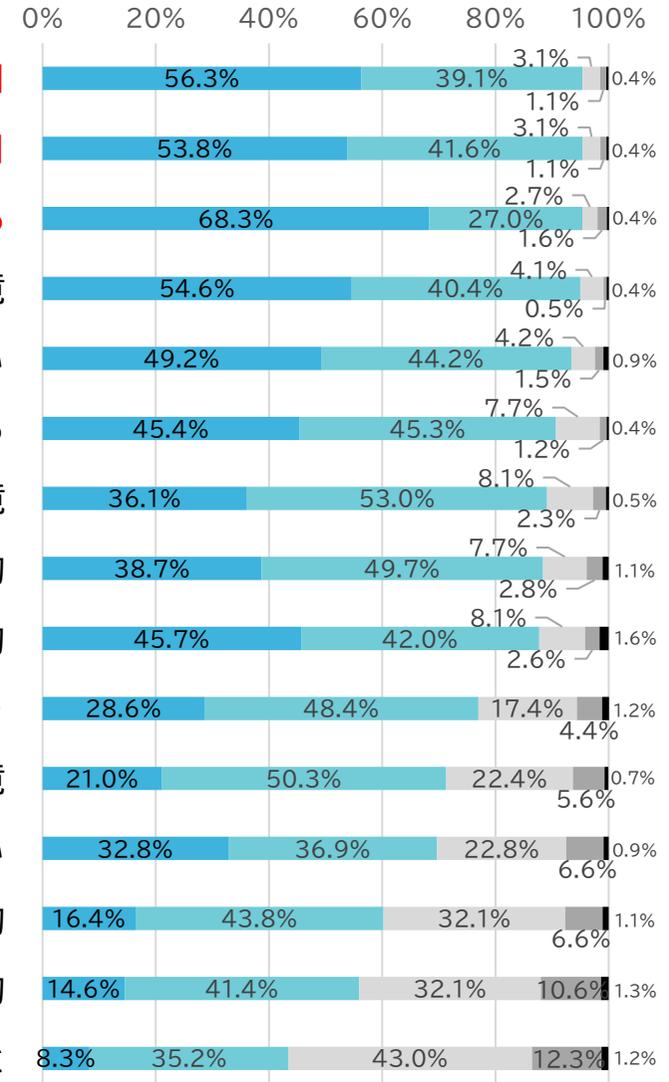
待ち時間に子どもを遊ばせるスペースがあるなど、安心して手続きに来ることが出来る環境

新しい庁舎によって周辺施設から熊本城の眺望が損なわれない

市民交流・情報発信の場を持つまちの賑わいに貢献する建物

周辺施設との調和がとれたデザインの建物

積極的に敷地や建物に緑化を取り入れること



2. 市民アンケート実施報告

市民利用スペースの機能についての重要度



■1:とても重要 ■2:重要 ■3:あまり重要ではない ■4:重要ではない ■無回答
0% 20% 40% 60% 80% 100%

金融機関・ATMがあること。

観光や歴史、市政等に関する情報発信スペースがあること。

熊本城やまちの風景を見渡せる展望スペースがあること。

市民活動などに利用できるスペースがあること。

子どもが遊べるスペースがあること。

雨に濡れない開放感のある屋根付きの屋外スペースがあること。

閉庁日(土日祝日)や夜間でも上記のようなスペースが利用できること。

コンビニや物販店等の商業施設があること。

自由に会話や飲食などができるスペースがあること。

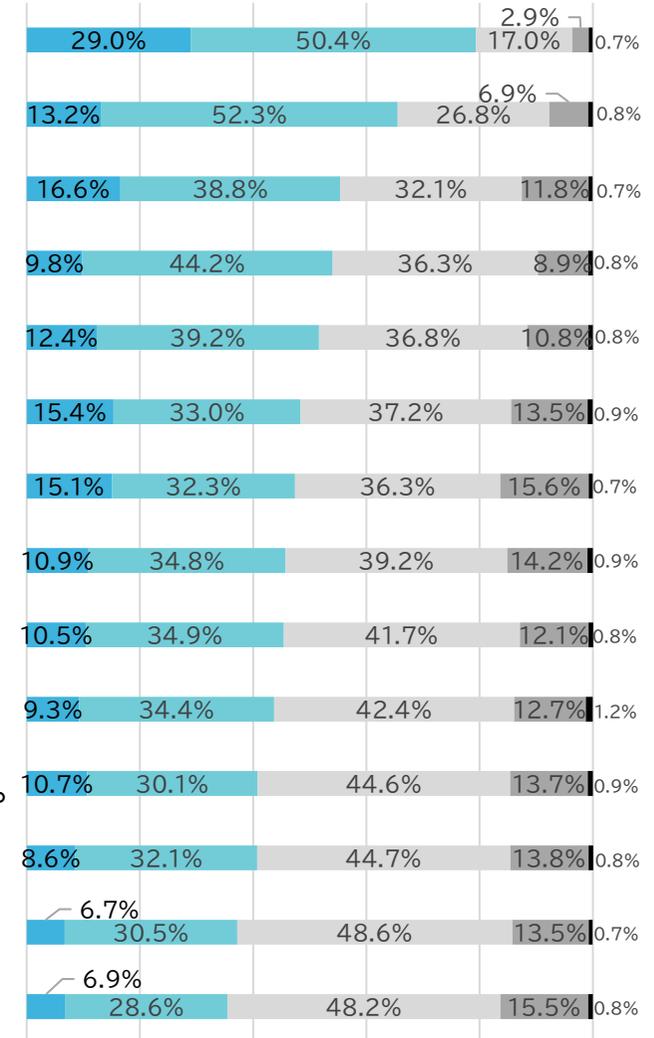
緑や水などの自然を感じるスペースがあること。

自由に会話や飲食などができるスペースの近くにカフェや軽食を提供するお店があること。

イベントが実施できるオープンなスペースがあること。

図書に触れられるスペースがあること。

ちょっとしたPC作業や自習等に使える静かなスペースがあること。



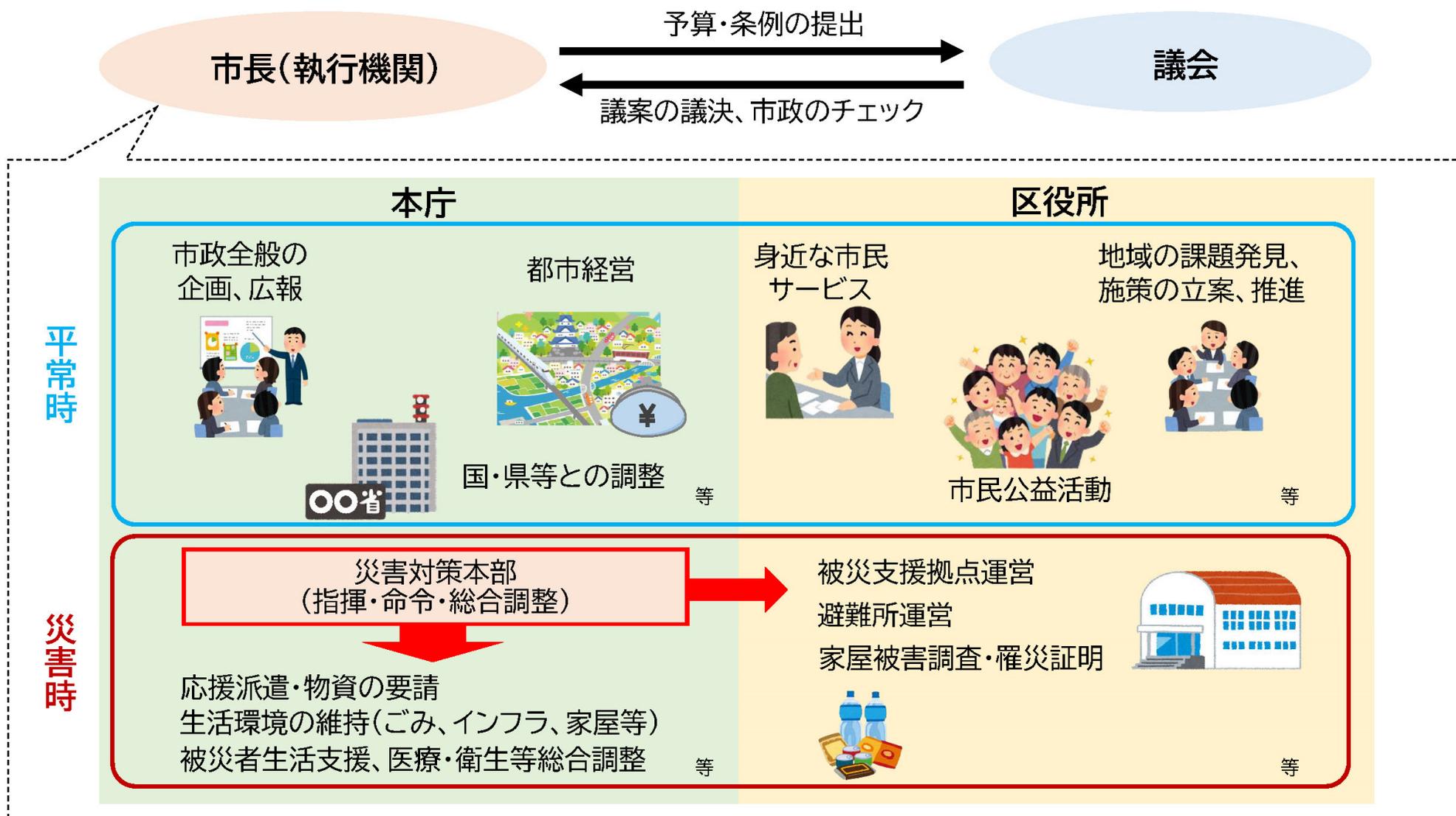
2. 市民アンケート実施報告

「新庁舎を整備する上で重要だと思うこと」、「市民利用スペースにあれば便利だと思う機能」について、ご意見や具体的なアイデア(自由記述)

分類	主なキーワード	件数
市民利用スペース	子どもが遊べる、図書、自習、休憩、カフェ、食堂、イベント、交流、展望、情報発信、運動、動物、休日	71
窓口、手続き	わかりやすい案内、相談しやすい、窓口一元化、待ち時間、オンライン、DX	50
施設規模・事業費	必要最小限、事業費削減、費用対効果、維持費、有利な財源	49
快適性、ユニバーサルデザイン	広いトイレ、広い待合スペース、高齢者、子育て世代、障がい者、外国人	39
アクセス、駐車場	広い駐車場、料金の割引、公共交通、アクセスしやすい	32
災害対応	災害に強い、防災拠点、避難	31
職員の執務環境	働きやすい、効率的、サービス向上	19
周辺施設との連携	サクラマチ、花畑広場、熊本城ホール、周辺の商業施設	18
景観・デザイン	周辺と調和、熊本城、明るい、開放的、緑化	16
建て替え不要	不要、反対	14
他の施策	地下水保全、渋滞対策、水道管耐震化	11
その他	職員の質の向上、アンケート内容、現庁舎跡地、周辺まちづくり、環境	72
合計		422

3. 庁舎の機能について

■ 本庁舎等の役割について



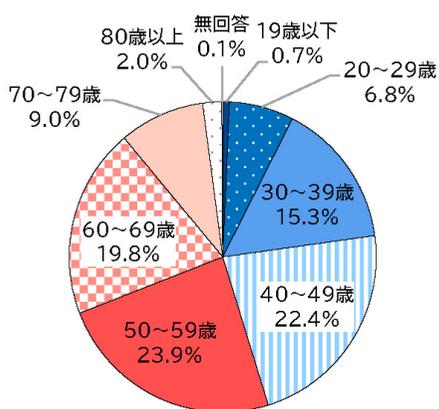
3. 庁舎の機能について

■（参考）現庁舎の利用実態について

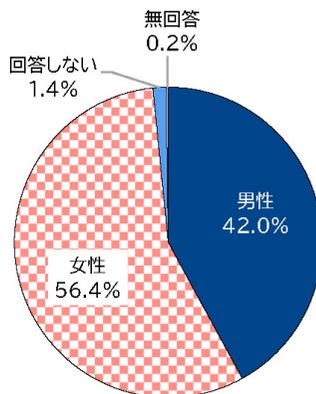
出典：熊本市本庁舎等に関する市民アンケート報告書（2023年12月）

アンケート回答者の属性

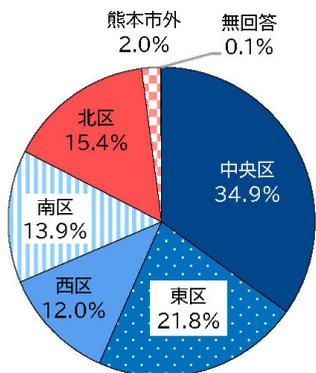
【年齢】



【性別】

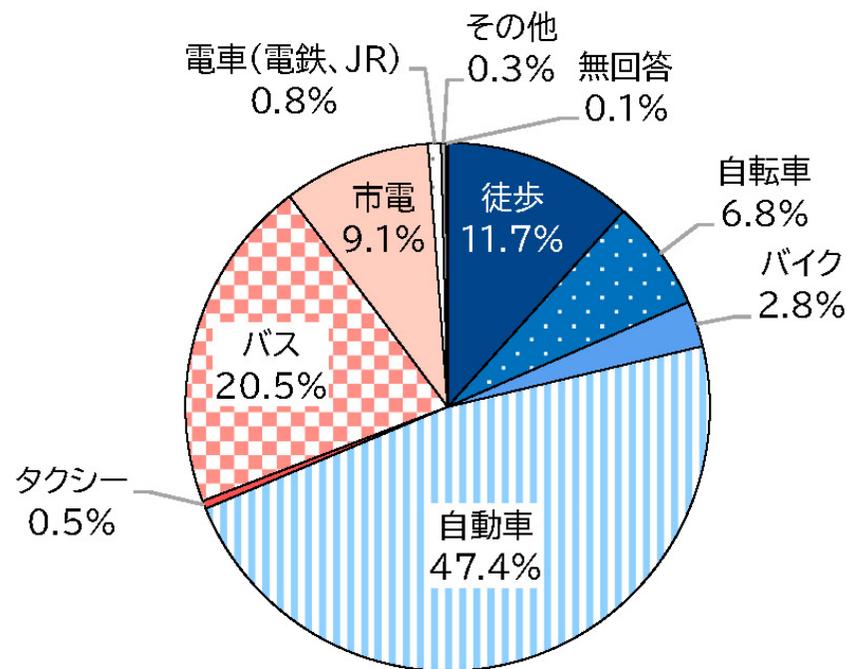


【お住まい】



来庁手段(交通手段)

- 自動車が多く、次いでバス、徒歩の順となっている。
- 年齢別では19歳以下は市電が多く、20~29歳~70~79歳では自動車が多く、80歳以上ではバスが多く。
- お住まい別では、全ての地域で自動車が多く、中央区は他の地域に比べて徒歩の割合が高い。



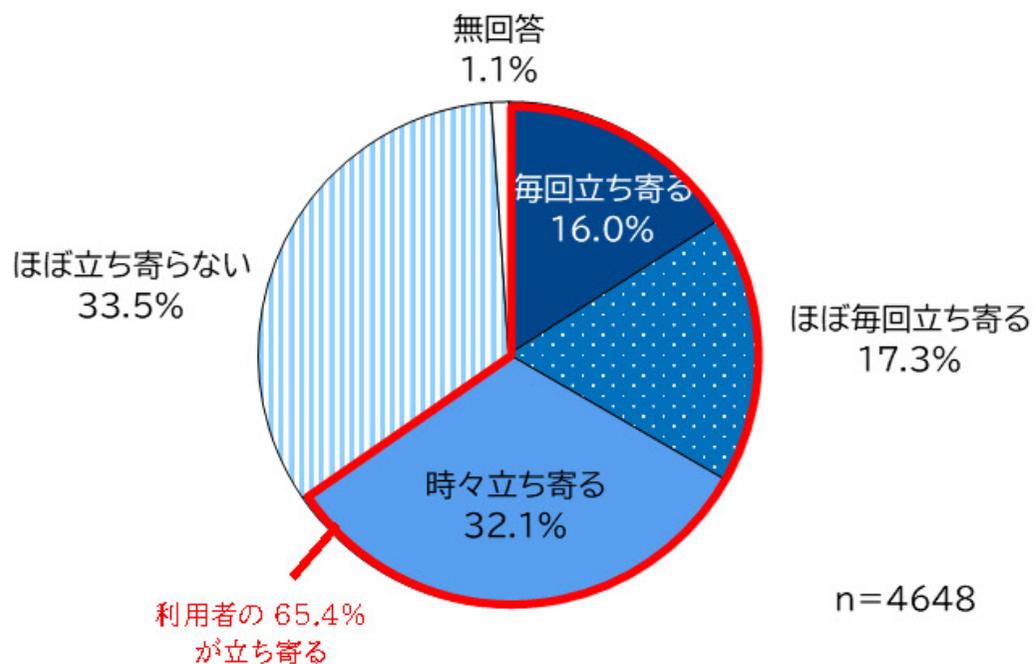
3. 庁舎の機能について

■（参考）現庁舎の利用実態について

出典：熊本市本庁舎等に関する市民アンケート報告書（2023年12月）

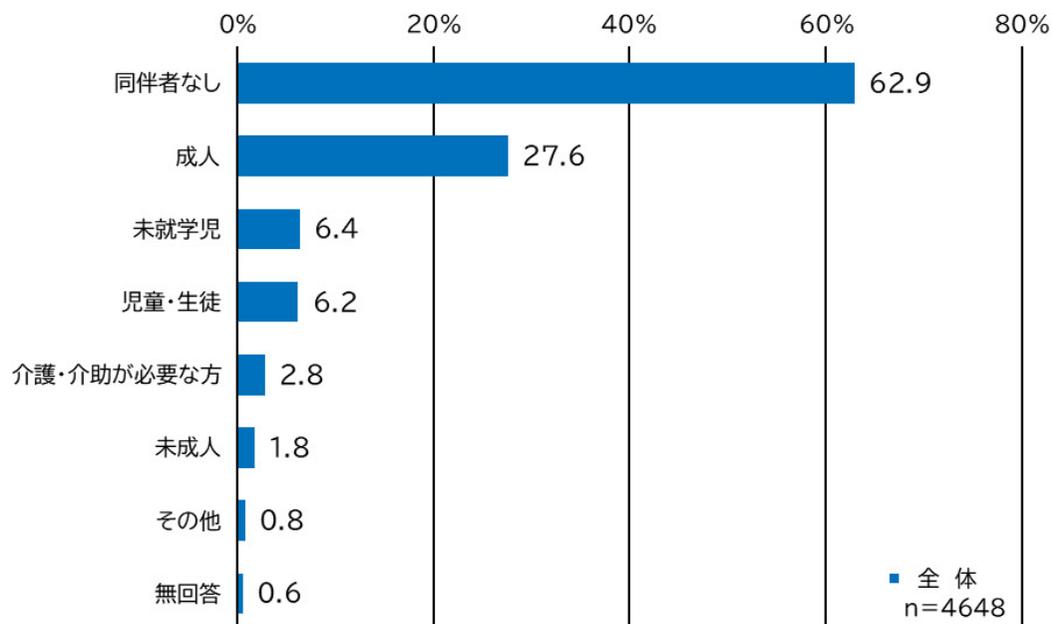
来庁前後の立ち寄り

- 本庁舎等を訪れる際に付近の商業施設や飲食店に立ち寄るかについて尋ねたところ、「ほぼ立ち寄らない」が最も多く、次いで「時々立ち寄る」、「ほぼ毎回立ち寄る」の順となっている。
- 全体の65.4%が付近の商業施設や飲食店に立ち寄っている。



同伴者

- 同伴者なしが最も多く、次いで成人、未就学児の順となっている。
- その他としては、「介護の必要のない高齢者」、「職場の人」などがあつた。
- 年齢別では19歳以下では成人が最も多く、20～29歳～80歳以上では同伴者なしが最も多い。



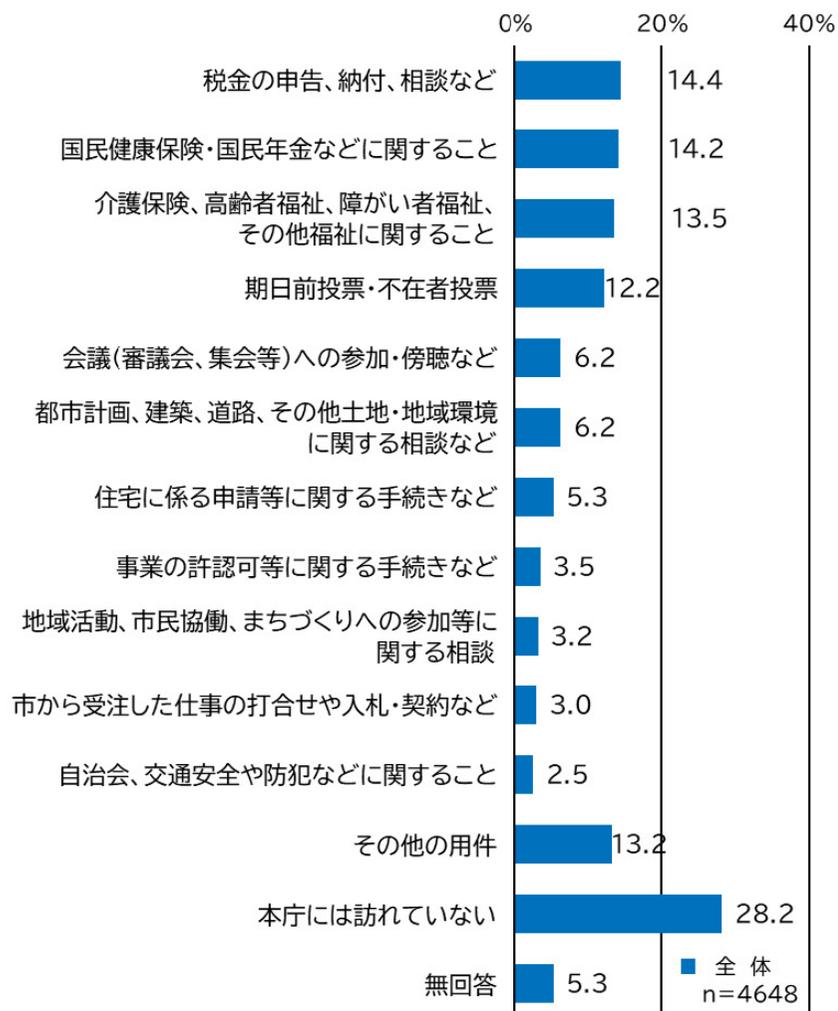
3. 庁舎の機能について

■（参考）現庁舎の利用実態について

出典：熊本市本庁舎等に関する市民アンケート報告書（2023年12月）

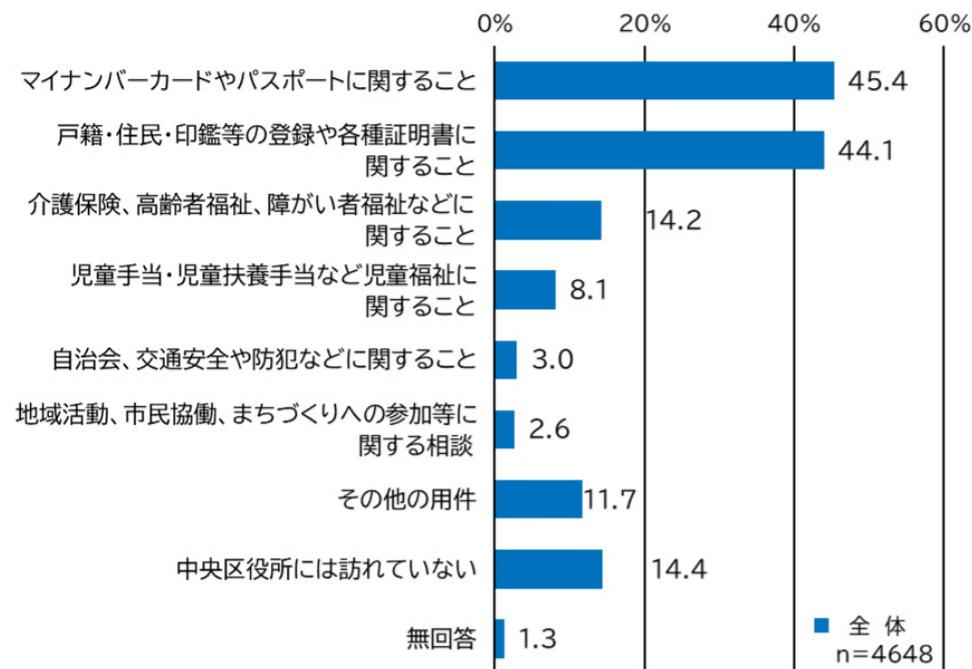
来庁目的(本庁)

- その他の用件は展望、仕事など



来庁目的(中央区役所)

- その他の用件は、ATM の利用、期日前投票など
- お住まい別では、中央区は「戸籍・住民・印鑑等の登録や各種証明書に関する」ことが最も多く、東区・西区・南区・北区は「マイナンバーカードやパスポートに関する」ことが最も多い。また、熊本市外は「中央区役所には訪れていない」が最も多い。



ワークショップ テーマ①

■新庁舎の利用イメージ／どのような利用者がいるか、想像してみましょう

1) 想定される様々な利用者の中から、各テーブルごとに、2人ずつのペルソナを設定します。

材料：利用者カード

イラスト出典：居心地のいい歩いて楽しめるまちなか未来図（熊本市中心市街地ウォーカブルビジョン）

ペルソナ：庁舎を訪れる利用者を具体的にイメージし、架空に設定した利用者像のこと。

1人のペルソナはこちらからお題を設定します。
(属性、来庁先等)
もう1人のペルソナは自由に考えてください。

ワークショップ テーマ①

■新庁舎の利用イメージ／どのような利用者がいるか、想像してみましょう

(参考) 予め設定させて頂いた利用者像 (ペルソナ) はこちらです！

材料：利用者カード

イラスト出典：居心地のいい歩いて楽しめるまちなか未来図（熊本市中心市街地ウォークブルビジョン）

	1	2	3	4	5	6	7
							
名前	名前は各テーブルでつけてあげて下さい！						
年代・性別	70代男性	30代女性	20代男性	40代女性	50代男性	10代女性	父:40代、母:30代、子:10歳
職業	無職(年金生活)	パート勤務	外資系企業	在宅ワーカー	中小企業の社長	高校生(受験生)	父:IT企業勤務、母:教育関係、子:小学生
趣味	囲碁、地域の老人会活動	育児ブログ、カフェ巡り	写真撮影、SNS、お酒	読書、手芸	ランニング、経済誌の購読	イラスト制作、動画編集	旅行、写真撮影、地元文化体験
お住まい	中央区	西区	中央区(海外から最近引っ越し)	北区	南区	東区	県外
来庁場所	中央区役所	本庁舎	中央区役所	本庁舎	本庁舎・区役所	本庁舎・区役所	本庁舎・区役所
来庁日時	平日の午前	日曜の昼過ぎ	平日の夕方	平日の昼間	平日の昼間	土曜の午後	日曜の昼間
来庁目的	後期高齢者医療制度の手続き	サクラマチ、花畑広場のイベントついでに休憩	住民票の手続き(転入)	自身の仕事で来庁(障がい者支援に関する打合せ)	本庁舎:自社の業務で担当課と打合せ 区役所:マイナンバーカードの手続き	塾帰りに友達と昼食のついでにまちなかを散策	無し(観光ルート沿いにあったから立ち寄った)
来庁手段	徒歩	車	自転車	バス	車	市電	高速バスで福岡から
来庁人数	1人	2人(幼児連れ)	1人	1人	1人	3人(友達と)	3人(家族で)
配慮事項等	足腰が弱く、杖を使用	乳幼児を連れて来庁	日本語がほとんど話せない	車椅子を使用	時間にシビア、効率重視	初めて庁舎を訪れる	土地勘が無い、荷物が多い

ワークショップ テーマ①

■新庁舎の利用イメージ／利用者像を具体的に考えてみましょう

2) 利用者カードを選び、どのような人なのか、自由に想定してみましょう

3) ペルソナシートに書き込みます

材料：利用者カード・シート

イラスト出典：居心地のいい歩いて楽しめるまちなか未来図（熊本市中心市街地ウォークブルビジョン）



利用者カードを貼ってください

インタビューするつもりで！

- 想定してもらう項目**
- ✓ 名前（仮名）：
 - ✓ 年代・性別：
 - ✓ 職業：
 - ✓ 趣味：
 - ✓ お住まい：
 - ✓ 来庁場所：本庁舎等／中央区役所
 - ✓ 来庁日時：平日／休日／夜間／ランチタイム／その他
 - ✓ 来庁目的：
 - ✓ 来庁手段（交通手段）：
 - ✓ 来庁人数（同伴者がいるか等）：
 - ✓ 配慮事項等：

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回 テーブル：

テーマ① 利用者像（ペルソナ）の設定

	名前（仮名）： 年代・性別： 職業： 趣味： お住まい：
来庁場所：本庁舎等／中央区役所 来庁日時：平日／休日／夜間／ランチタイム／その他 来庁目的： 来庁手段（交通手段）： 来庁人数（同伴者がいるか等）： 配慮事項等：	

テーマ② 利用シーンと必要な空間・機能

利用シーン (行動の流れ・場所)	理想的な過ごし方	必要な空間・機能

ワークショップ テーマ②

■新庁舎・新区役所の周辺に必要な空間・機能、コンセプト

1) 利用者が庁舎を訪れて帰路につくまでのルートと利用シーンを考えます。

材料：敷地周辺マップ、ふせん

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

前回、第1回ワークショップで議論した「新庁舎周辺地区の位置づけ・役割」「まちなか庁舎のあり方」も意識して、利用シーンを考えてみましょう。

シーン① バスで来庁
桜町バスターミナルから本庁舎へ

来庁ルートや来庁前後の立寄り場所等についても、マップに直接書き込んでみましょう。
模型も見てみてください！

シーン① 坪井川沿いを散歩している途中で区役所に立寄り

利用者Aさんの利用シーン

利用者Bさんの利用シーン

テーブル：

2) 必要な空間・機能を書き出します。

材料：ワークシート

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル：

テーマ① 利用者像（ペルソナ）の設定

名前（仮名）：
年代・性別：
職業：
趣味：
お住まい：

来庁場所：本庁舎等／中央区役所
来庁日時：平日／休日／夜間／ランチタイム／その他
来庁目的：
来庁手段（交通手段）：
来庁人数（同伴者がいるか等）：
配慮事項等：

テーマ② 利用シーンと必要な空間・機能

利用シーン (行動の流れ・場所)	理想的な過ごし方	必要な空間・機能

記入の仕方は次のページを参考にしてください

ワークショップ テーマ②

■新庁舎・新区役所の周辺に必要な空間・機能、コンセプト

(参考) ワークシートの書き方

材料：ワークシート

テーマ② 利用シーンと必要な空間・機能

どこで何をするか、利用者が新庁舎に来庁して帰路につくまでの流れを、場所とセットで書きます。

まず始めにマップを見ながらふせんに行動の流れを書き出し、ルートを確認してからシートに記載すると良いでしょう。

利用シーン (行動の流れ・場所)

- ・バスで桜町バスターミナルに到着
- ・サクラマチクマモトで買い物
- ・区役所へ移動
- ・区役所で申請手続
- ・屋上で休憩
- ・区役所近くのバス停から帰路へ

理想的な過ごし方

利用者（ペルソナ）の気持ちになって、理想的な過ごし方を考えます。

- ・どこの窓口に行けば良いか、すぐに分かるといいな…
- ・コーヒーを飲んでゆっくりできる
- ・どれくらいでバスが来るか分かる

必要な空間・機能

- ・自販機又はカフェ、ベンチ・日よけ等
- ・運行状況表示のサインージ、待合室

理想的な過ごし方を実現するために必要な空間・機能を書き出します。